

至徳

射水市立金山小学校 学校だより

令和5年6月19日

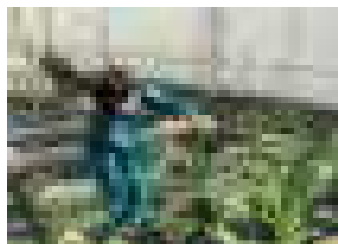
第6号



子供たちのセンス・オブ・ワンダー

子供たちは日常生活のいろいろなところで新鮮な発見をし、驚いています。その時と場を共有するとき、私はなんともいえない幸せな気持ちになります。

学校園の畑で野菜を育てています。毎日水をやり、じっくりと観察しています。「観察しましょうね」と先生に言われたから見ているのではなく、見たいから見ているのです。ある朝、一人の子が白っぽい液体を葉にかけていました。聞くと、葉の裏にアブラムシが付いているのでなんとかしたいと願い、調べたところ、片栗粉を水で溶かしたものを噴霧する方法があったとのこと。それ



アブラムシ対策中

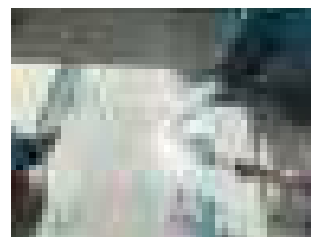
を実践していたのです。学校が休みのときにも畑へ来て試してみたそうです。なるほど、葉の裏にはアブラムシがついています。きっと毎日「どうなっているかな？アブラムシは減っているかな？」とドキドキしながら朝の水やりをしながら観察していることでしょう。



スイカの実

「先生。こーんなに小さいけど、スイカの実を発見しました！」そうやって驚いていた子がいました。大人の私の目ではなかなか見つけられなかったのですが、教えてもらった場所を見てみるととても小さいスイカの実がちょこんとありました。あの大きなスイカからはほど遠い大きさです。発見したときの驚きはすごかったんだろうなあと思いました。

図画工作科でカラーフィルムを透明なうちわに貼り付けて作ったものがあります。太陽の光を当てると、教室の床に影ができます。黒い影ではなくカラフルな影です。子供たちにとっての影のイメージは黒。カラフルな影に驚き、床に活動を楽しんでいました。さらに「あっ！うちわを傾けると影も変な形になっていくよ」と興奮気味に話をしてくれる子。きっと自分の動作で影の形を操れることにも楽しさを感じたのでしょう。



カラーうちわと影

子供たちはよく校長室を訪れます。いろいろな科学おもちゃや種等を置いてあります。人気のある科学おもちゃの一つに「浮沈子」があります。ソース入れとナットとペットボ



浮沈子

トルがあればすぐに作れます。おもしろいところは、ペットボトルを押すと水面は押した分だけ上がるのに、中に入っているソース入れが沈むという反対の動きをします。手を離すと沈んでいたソース入れが上に浮かんできます。当たり前だと考えていることと現象のズレがあり、感性が刺激され、「えっ！」「なぜ？」と考えはじめます。その場にいる友達といろいろな仮説を言い合い、さらによく観察します。納得のいく説がすぐに見つかる場合もあれば、ずっと後になって見つかることもあります。

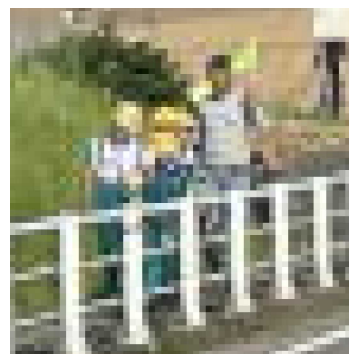
子供たちの感性は私たち大人の想像を遙かに超えて鋭いのです。

まさにセンス・オブ・ワンダーの達人です。

子供たちの安全・安心な登校のために



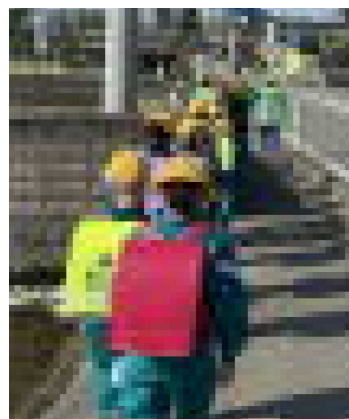
毎朝 7 時 40 分頃、青井谷・宿屋地区・上野地区の子供たちが地域の方に見守っていただきながら学校へ登校してきます。7 時 50 分頃、浄土寺・野手地区の子供たちがバスから降ります。学校前のバス停でも、地域の方が降りてくる子供たちを見守ってくださいます。



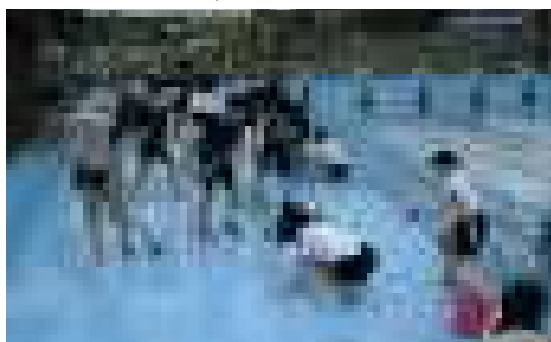
学校前の横断歩道では、地域の方や保護者の方が立って子供たちが安全に道路を渡れるようにしてくださっています。本校の前の道路は交通量が多いので、大変助かっています。



子供たちは、大変多くの地域の方や保護者の皆様方に見守っていただいているからこそ安心・安全に登校できているということに改めて感謝する毎日です。



プール清掃(6.14)



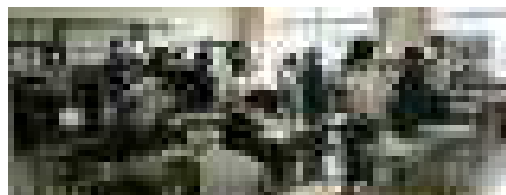
6 月 14 日（水）に全校でプール清掃を行いました。プールサイドや更衣室、大小のプールを子供たちと教職員が一緒になってピカピカにしました。6 月 21 日（水）のプール開きから、いよいよ水泳学習がスタートします。

学習参観・引き渡し訓練(6.16)

6 月 16（金）学習参観と引き渡し訓練を行いました。新学期が始まっておよそ 50 日間。子供たちはぐんと成長しています。学校での子供たちのそういった姿の一端を垣間見ていただけたことと思います。



体育館で引き渡し



学習参観

また、引き渡し訓練もスムーズに行えました。お時間をつくってご来校いただきましたことに感謝申し上げます。